

関係各位

2022年3月18日

株式会社ロケッコ（手書き地図推進委員会）



手書き地図アワード2022



手書き地図アワード 2022 結果発表のお知らせ ～めざせ！君たちだけの物語～

株式会社ロケッコが運営する手書き地図推進委員会は、「手書き地図アワード 2022」を開催し、結果発表いたしましたのでここにご案内申し上げます。

■手書き地図アワードとは

地元愛に満ち、作者の独自の視点で描かれるため手書き地図は、まるで物語のように街を愉しむことができる地図の形をした読み物です。手書き地図アワードは、そんな手書き地図の持つ魅力を日本全国各地に伝えるべく 2022 年にスタートしたプログラムです。

■手書き地図アワード設立背景

手書き地図推進委員会では、小学校の総合の学習の時間の中で出張授業の機会を多くいただいております。年度末には完成した素晴らしい作品を送っていただくのですが「もっとこの作品をたくさんの人に知ってもらう機会はないだろうか？」と考え始めました。普段、私たち手書き地図推進委員会のワークショップを通して完成した手書き地図は、紙に印刷したものはもちろんのことブックカバーや

手提げ袋としても流通させ、たくさんの人に見ていただく機会を創り出してきました。小学生のみならずの素晴らしい作品をたくさんの人に見ていただく機会とともに日本中の地域の面白い物語を共有する発表の場を作りたい。そんな思いからスタートいたしました。

■対象

全国の小学生（1年生～6年生まで学年は問いません）

■審査委員

研究員：川村 行治／大内 征／跡部 徹／赤津 直紀 公式絵地図作家：江村康子

■アワードの流れ

事前エントリー

2022年6月13日～2022年11月30日

一次審査

2023年2月6日 応募作品数87作品→一次審査で9作品を選考

二次審査

2023年3月3日 一次審査を通過した9チームがオンラインで発表し各賞を決定

アワード／各賞の発表

2023年3月10日

大賞1作品と部門賞5作品を審査委員会の話し合いにより決定

■手書き地図アワード 2022 結果

今回のアワードは、[手書き地図憲章](#)に則って賞をご用意させていただきました。各賞及び大賞を受賞したチームには、賞状の盾を。参加者全員にステッカーを配布しました。

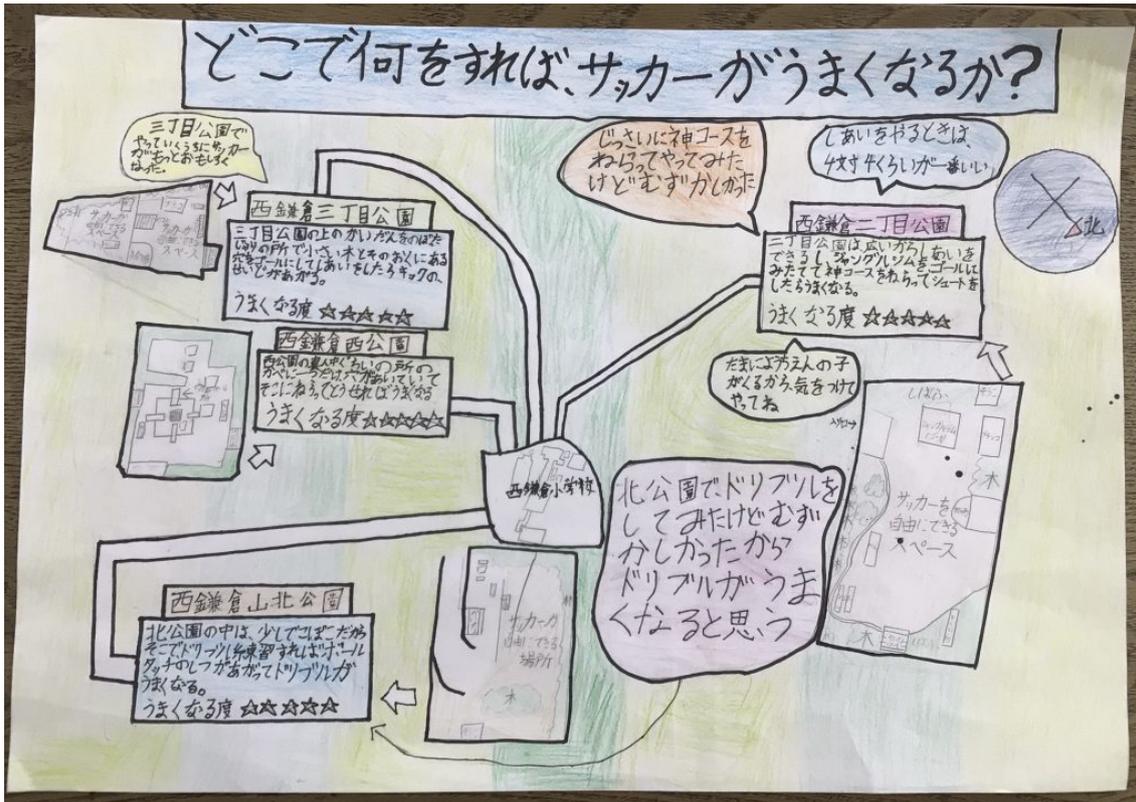
<部門賞>

Maniac 賞 → 偏愛するモノ・コトが書かれているで賞

鎌倉市西鎌倉小学校 3年2組

チーム名：にしかま207

作品名：どこで何をすればサッカーがうまくなるか



【審査員評】

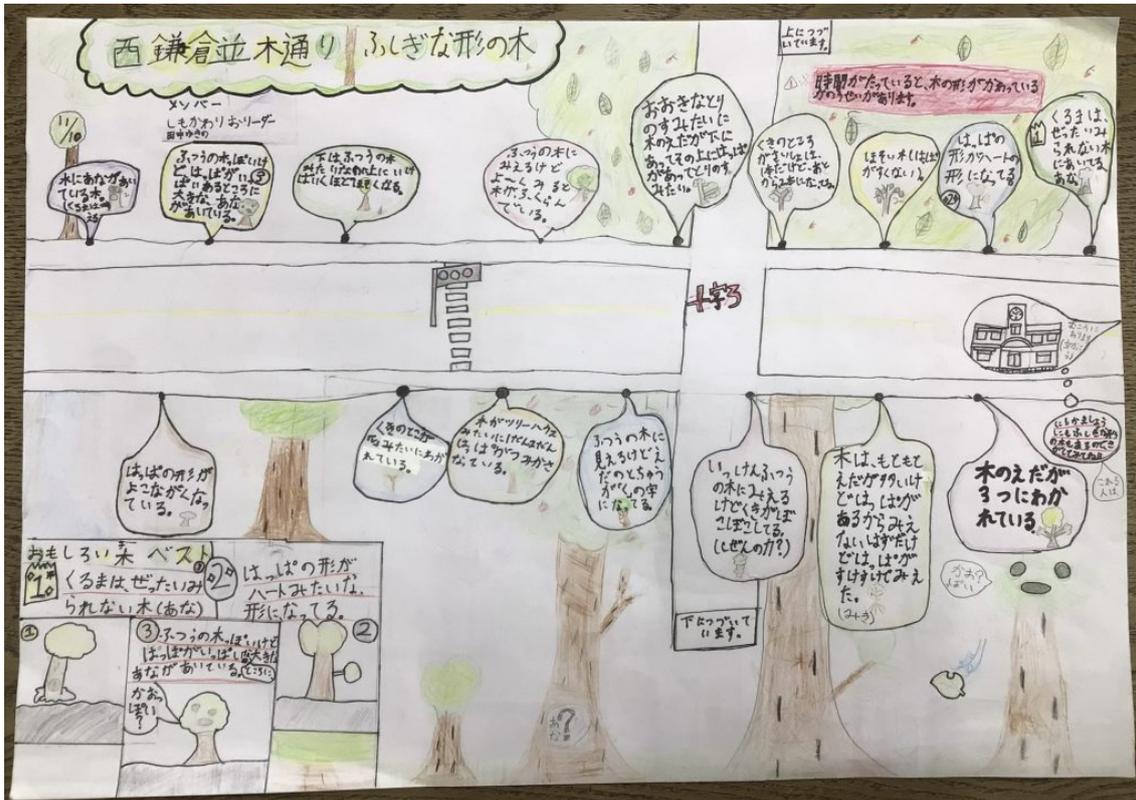
サッカー、うまくなりたいよね！ そのためなら、みんな真剣に練習すると思います。でも、人よりもっとうまくなるためには、ただ練習するだけではなく、少し別のことをしなければ差をつけることはできません。きっと、この地図をつくったふたりは、そういうことをよく考えて「自分なりのこだわり」を大切にサッカーと向き合っているのだと感じました。だって、デコボコの公園がドリブルの特訓になるとか、小さな木と穴をうまく利用するとキックの精度があがるとか、ふだんから工夫して努力している人でなければ思いつかない発想です。そして、なかなか思い切りやることができないサッカーを、どこでどうやれば楽しく練習することができるのか？ その答えを、みんなが遊べる「近所の公園」の中に見出したことが、本当にお見事でした。これなら転校生もすぐに一緒に遊べるね！ 自分たちの経験が、とてもよく表現できています。ヒセイ選手、レオ選手、おつかれさまでした！

Maniac 賞 → 偏愛するモノ・コトが書かれているので賞

鎌倉市西鎌倉小学校3年2組

チーム名：にしにかま201

作品名：西鎌倉並木通りのふしぎな形の木



【審査員評】

並木通りを実際に歩いて取材したからこそ書ける、車では絶対に見ることができない景色が地図の中にありました。小人が住んでいそうな場所や顔に見える穴を見つけた途端、ただの風景が知り合いに囲まれた楽しくて安心できる空間に変わるのだと思います。「このでこぼこ、ハート、穴はなんだろう？」空想の元になっていた特徴は、実はその樹木の育ち方や環境に関わっていたりするのかもしれませんが。専門家の方と、もっと深掘りできる可能性も感じます。マニアックな地域の見方・楽しみ方が始まっている地図にとってもワクワクしました。

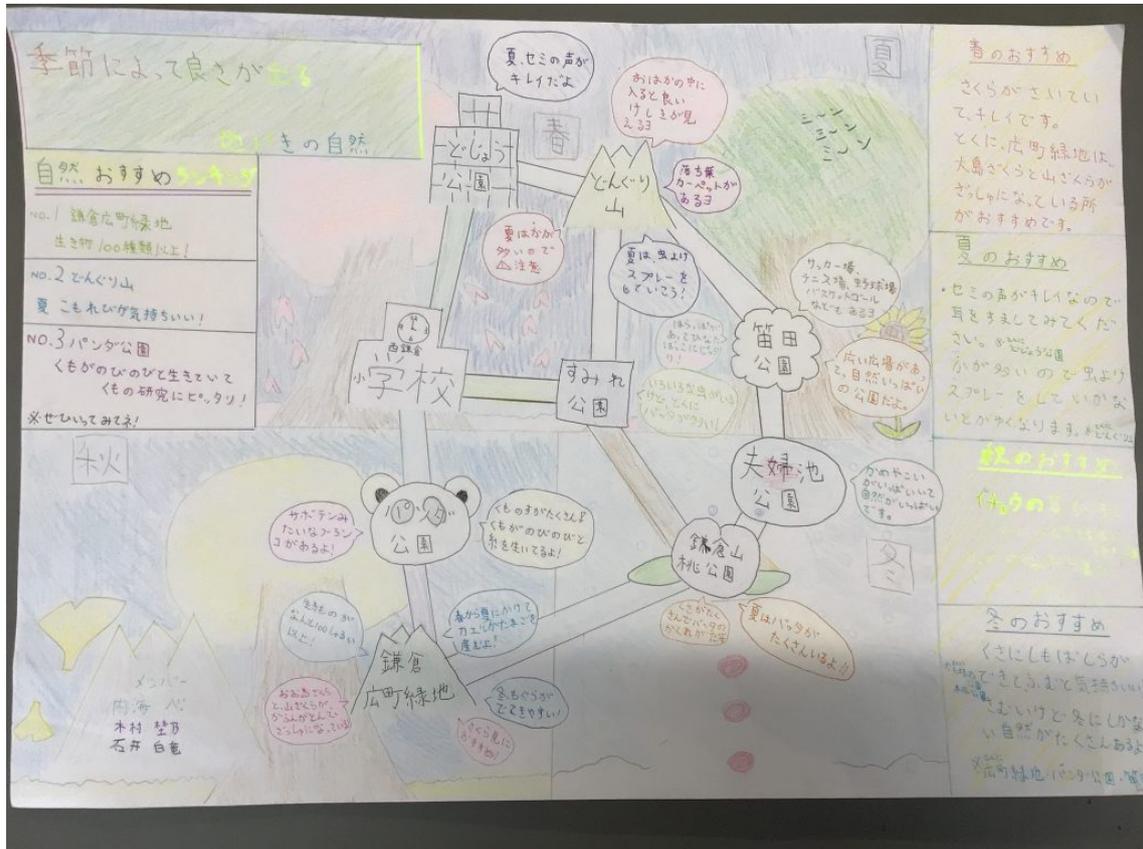
※今回 Maniac 賞は2作品選考させていただきました。

Area 賞→溢れ出るエリア愛が書かれているで賞

鎌倉市西鎌倉小学校3年1組

チーム名：にしにかま101

作品名：季節によって良さが出る地いきの自然



【審査員評】

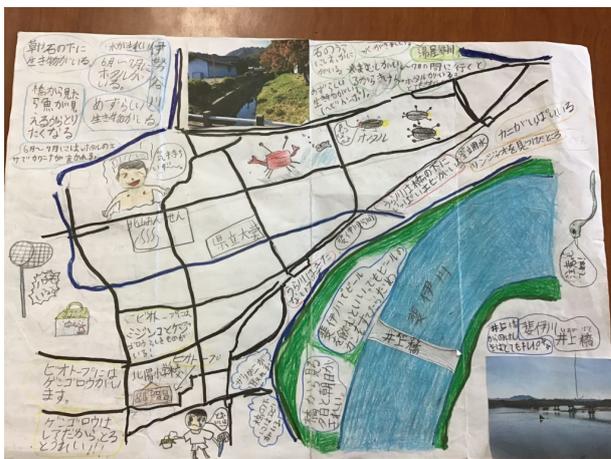
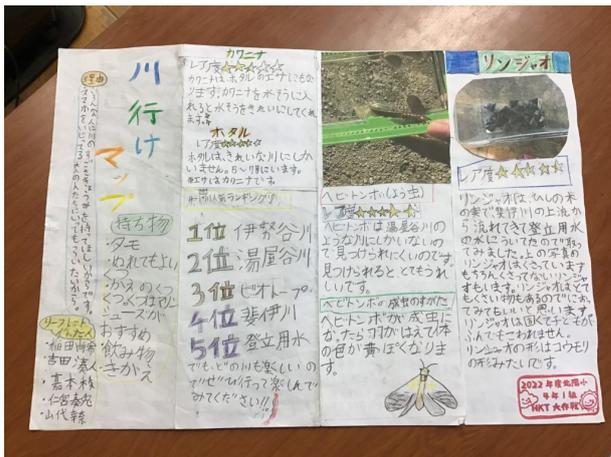
時間軸を地図に表現することは、手書き地図推進委員会ではとても大切にしています。わが町の自然の移り変わりを事細かく伝えることができるのは、皆さんが暮らしているからこそ出来るんですね。春夏秋冬、皆さんがいつも楽しく遊んでいる公園や緑地での体験を通じた魅力が、この1枚の地図に詳しく、また楽しげに、よく描かれています。とても素敵です。また、左上にオススメをまとめている事もわかりやすく感じました。もし、違う街からのお友達がやってきたらこの地図で紹介しながら公園や広場で遊ぶと鎌倉の魅力がより伝わるでしょう。

Story 賞 → 自分だけが書ける物語があったで賞

出雲市北陽小学校 4年1組

チーム名：地域の人にマップを作るうチーム

作品名：川行け！マップ



【審査員評】

「川行け！」というタイトルがとても強力なインパクトがありました。素敵です。そして、スマホばかりいじっている大人たちに対して川の魅力をしっかりと伝えてくれていますね。斐伊川でビールを片手に井上橋から見る夕日はとても綺麗なだろうなあと思いが膨らみます。普通の地図には川という〇〇川としか表記しませんが、みなさんの視点から紹介された「川行け！マップ」ではしっかりと取材した情報も表現されているので一緒に川に遊びにいったような気持ちになれました。

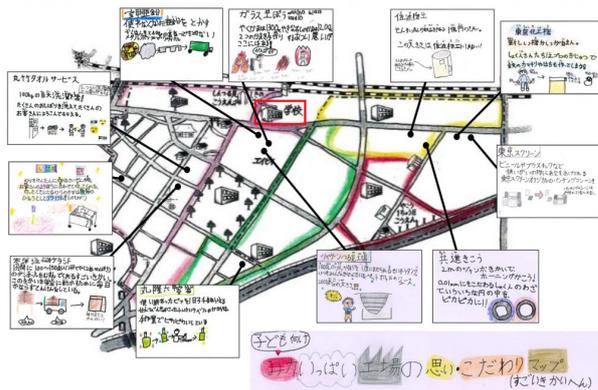
<アワード>

手書き地図アワード 2022 大賞

横浜市新鶴見小学校 3年4組

チーム名：スーパー3430

作品名：みかいっぱい工場の思いこわりマップ



【審査員評】

第一回手書き地図アワードにふさわしい、手書き地図憲章にある MAPS の要素がすべて入った地図でした。工場がたくさんあるというエリアの特徴を発見 (Area)。11 回も取材に行き、「ネットにのっていない情報」を自分たちの足で集めました (Process)。工場の人達のすごさを「かっこいい」「想いのある」と感じ取り、それを表現するために大人向け、子供向けと 2 つの地図に編集 (Maniac)。そして、一番の受賞理由はみなさんが自分たちの街にある工場に興味を持ち、それぞれの凄さに誇りを感じていることが伝わってきたことです (Story)。

■審査を終えてアワードに参加した小学生からの感想（抜粋）

私たちの地域には、川はあまりないし、工場がどこにあるのかもわからないし、興味もないので、そこに興味を持つのがすごいし、スマホをいじっている大人の人や一年生の子たちにも見てほしいという気持ちを強くもち、子どもなのにビールのことを書いたり、ふりがなをふったりと工夫していた良かった。

感じたことは他の町のことをよく知ることができたので、もしその町に行った時に、その手書き地図を見て行こうと思いました。あと、その場所を手書き地図に書いたのが発表していた時にその場所は、そういういい所があると知っていきたくなりました。

日本全国、1つ1つの町事に、すごいみ力がたくさんあると思いました。気がついたのは、聞いた事も見た事もない市に、とてもみ力がたくさんあると気づきました。考えた事は、どこの市もみ力があることです。どうしてそこを考えたかと言うと、いろいろなみ力があるのだったら、無限大数ぐらい日本にある事になるからです。感じたのは一人一人ストーリーがあるから、手書き地図ができています。ストーリーがあるから、そのテーマをえらんだからかもしれないからです。

アワードではその町にしかないみ力が伝わってきて、みんな町を愛しているのだと思いました。つるみ市の小学校では、大人向けと子ども向けがって、いろいろに人に知ってもらいたいんだとすごく伝わってきました。気がついたことは、どのはんも町への情熱があったけど、みんなちがったテーマで受賞していたのでかんきょうがちがっても、たくさんの知りたいという心があれば誰でもがんばれると思いました。考えたことは、テーマにした理由がみんなちがうけど、どうやってどこを説明するのか、何回も練習して協力してやったんじゃないかと考えました。

他の学校の人たちは、私たちとちがう考えやしょうかいではなく、1年生のための地図とかを作っていて、すごいと思った。私はもう一回地図を作りたくなった。

私たちが作った手書き地図と全然ちがくて個性のある発表だったり、地図だったりしたけど、他の地域の人や保護者の人たちに地図の思いを伝えたいという共通点がありました。

■先生からのコメント

とても楽しかったようで、1時間半ものすごく集中していました。今日、振り返りを宿題にしましたが、オンラインでいろいろな学校のマップが見られたこと、プレゼンが聞けたこと、自分たちのクラスのプレゼンに協力したことなどたくさんプラスの学びがあったようです。気に入ったマップもあったようです。学級が一つになったのもこのプレゼンのおかげだと思っています。学級力が増しました！なかなか無い経験をさせていただき、ありがとうございました。私もとても楽しかったです。

本日は手書き地図アワード、ありがとうございました。子どもたちは緊張してメモを凝視しながらも、一生懸命発表していました。他の学校の子どもの発表も楽しそうに聞いていました。様々な地図、プレゼンがあり、とても刺激をいただきました。結果発表をとても楽しみにしていて、5つの賞が発表されると、「絶対大賞を獲る！」と意気込む子や、両手を合わせて祈る子など、反応はさまざまでした。



■手書き地図推進委員会とは

手書き地図推進委員会とは、2013年に発足し手書き地図を作成するワークショップを通して、自分たちの住む地域の魅力を再発見しその魅力を外の人に知ってもらう活動を中心に行なっている団体です。Dig Map Discover Local というコンセプトのもと「街へのラブレター」「足だけでなく心を動かす地図」「あなたの日常は誰かの非日常」などをキーワードに、まちおこしや地域学習の現場で誰でも気軽に参加できるワークショップを全国各地で多数開催しています。また、活動を取りまとめた書籍「地元を再発見する! 手書き地図の作り方」を出版し手書き地図の普及に努めています。

2020年にグッドデザイン賞 地域コミュニティ部門を受賞。

手書き地図アワード2022事務局 info@tegakimap.jp

主催：手書き地図推進委員会

協力：学芸出版社／宮園輸入車販売株式会社／株式会社インセクト・マクロエージェンシー／株式会社空気読み／ローカライズプロダクション